

水土里ネット ながの情報

2024
NO. 22
夏号

長野県土地改良事業団体連合会
土地改良のしるべ



CONTENTS

- 令和6年度臨時総会
- 要望行動（県及び国会議員）
- 女性の会設立について
- 特集 第65回全国土地改良功労者表彰
受賞地区の紹介 松本市女鳥羽川土地改良区
- 長野県土地改良歴史資料室開設
- 長野県からのお知らせ
- 信州棚田フォトコンテストについて
- 人事異動

令和6年度臨時総会



臨時総会の様子

令和5年度決算等の承認

本会は、7月22日、長野市のホテル国際21で、令和6年度臨時総会を開催した。

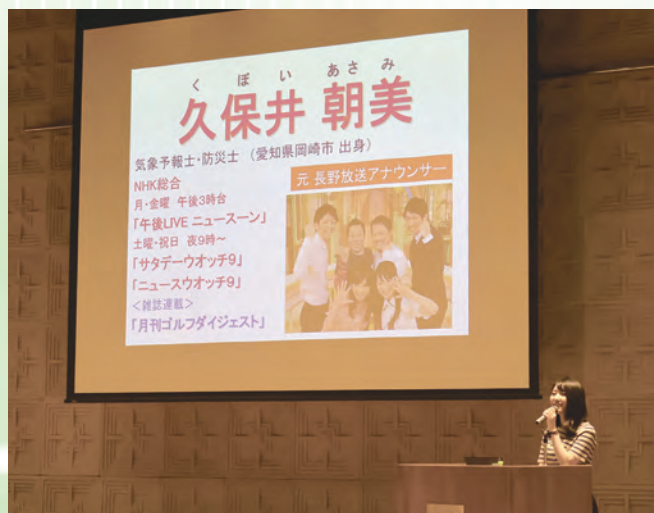
牛越副会長のあいさつの後、来賓の宮下衆議院議員、柳澤農地整備課長が祝辞を述べ、都道府県水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員からはビデオメッセージをいただいた。提出された議案は、令和5年度事業報書、貸借対照表、収支決算書及び財産目録の承認について、令和6年度収入支出補正予算（第1号）（案）議決についての2議案でいずれも原案どおり満場一致で可決された。

総会終了後、元長野放送アナウンサーで、気象予報士・お天気キャスターとして活躍される久保井朝美氏より、「農林漁業に役立つ気象情報」と題して講演会が行われた。

最後に、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員より、食料・農業・農村基本法の改正を踏まえた農業農村を巡る情勢報告が行われた。



祝辞を述べる宮下衆議院議員



久保井氏による講演の様子



情勢報告を行う宮崎議員

県への要望行動

第66回通常総会の決議事項について県に要望行動を実施



要望の様子

本会は6月1日、県への要望行動を実施した。藤原会長（写真右から3人目）、白鳥専務理事、所常務理事、中島理事、名取理事、下平理事、大屋理事、中田理事、峯村理事、湯本理事、小林理事、中澤代表監事、吉澤監事、和田監事の14名が出席し、関副知事（左から3人目）、小林農政部長、保科次長、柳澤農地整備課長に要望書を提出した。

はじめに藤原会長が「県の農業農村整備予算については地域の要望に応える予算を確保していただき感謝申し上げます。本会としては、今後とも県と連携して農業農村の復興を図るため事業推進に努めてまいります」と述べた。

その後、安定的かつ計画的な事業の推進が可能なように、地域の要望を満たす予算を確保するための国への働きかけをはじめとする要望書の内容4項目について説明を行った。

関副知事より「農業農村整備事業は非常に重要な事業である。必要な事業を推進するための予算を編成すると共に、国にも要求をしましてまいります」との回答をいただいた。また、小林農政部長が4つの項目について県の現状と今後の対応について説明され、本会と連携していきたいと述べられた。

4つの要望項目

1. 農業農村整備事業予算の確保

収益性向上を図る農地の条件整備や、農業水利施設の長寿命化対策及び農村地域の防災・減災対策などが、安定的・計画的に実施出来るよう、地域の要望を満たす予算を確保すること。

また、国土強靱化基本法の改正を踏まえ、5か年加速化対策完了後においても、継続的・安定的に国土強靱化の取組が進められるよう、国への働きかけを推進すること。

2. 持続的な農業用水の安定供給体制の確保

農村人口が激減する中で農業用水の安定供給を持続するため、ICT等を活用した施設管理の省力化を、さらに加速化して推進することに加え、土地改良区の運営基盤強化のため、女性理事の登用促進及び複式簿記の運用定着への支援を継続すること。

3. 中山間地農業の支援による多面的機能の維持・発揮

農業農村が有する多面的機能を継続的に維持・発揮していくため、日本型直接支払の次期対策の確実な実施と、中山間地域の基盤整備が簡易な費用対効果分析により機動的に実施できる事業の創設について、国への働きかけを推進すること。

4. 農業農村工学技術者の確保・育成

地域の多様なニーズに対応した整備や適切な維持管理を継続するため、農業農村工学技術者育成の取組を進めること。

国会議員への要望行動

当初概算要求額の確実な確保などを要望

本会は6月10日、県選出の国会議員に対して、農業農村整備事業予算の確保、持続的な農業用水の安定供給体制の確保、中山間地農業の支援による多面的機能の維持・発揮、農業農村工学技術者の確保・育成等4項目について要請行動を実施した。藤原会長を始め、県内土地改良区理事及び女性職員34名が出席し、井出庸生衆議院議員、務台俊介衆議院議員、若林健太衆議院議員（秘書対応）、宮下一郎衆議院議員（秘書対応）へ要望書を手渡した。

当日は県内改良区の役員及び女性職員から「電気料金高騰に対する助成の継続・施設老朽化対策のための予算確保・小水力発電に対する支援の推進」といった課題・要望が挙げられ活発な意見交換となった。

各先生より、農業農村整備事業の重要性は十分に理解しており、引き続き予算の確保に努める旨の回答をいただいた。



井出庸生衆議院議員



務台俊介衆議院議員



若林健太衆議院議員（秘書対応）



宮下一郎衆議院議員（秘書対応）

まもなく会員募集開始！



会の名称を募集します！

下記メールアドレスへ

農業農村整備の現場で活躍する

女性が集う会 を設立します

令和6年11月1日(金) 設立総会開催予定

何のために作るの？

- 土地改良区は水路や農地の維持改良を通じて、農業を支える重要な団体です
- 内外情勢が変化するなか、柔軟に適応できる、地域に根ざした強くてしなやかな組織が期待されています

どんなことをするの？

- 現地視察や研修を通じて、楽しくスキルアップ
- 日々の悩みや課題を相談し、効率的に業務を遂行
- さらに…
地域の声や要望をまとめ、仲間を増やし政策提案

設立の目的

女性理事や女性職員の登用などを進め、未来の農業農村をデザインし、信州の農業振興を支えていきます

積極的なご参加をお待ちしています

- ・ 土地改良区女性理事の皆さん
- ・ 土地改良区女性職員の皆さん
- ・ 農業関係団体女性役員・職員の皆さん
- ・ 行政機関女性職員の皆さん ほか

- ★食料安全保障の確保
- ★環境との調和
- ★農業の持続的発展
- ★農村の振興

会の名称を募集します！

名称案を下記のアドレスまでお寄せください。

事業内容等についての意見要望もお待ちしております！

メールアドレス：soumu@nag-doren.or.jp 締切：令和6年9月末



みどり
水土里ネットながの
長野県土地改良事業団体連合会

【お問合せ】 総務企画課
電話 026 (233) 4281
担当 坂本、瀧澤

全土連会長表彰 松本市女鳥羽川土地改良区

松本市女鳥羽川土地改良区の受益地は岡田・本郷全部及び里山辺の一部を含む標高700から1,000mの地域である。南部は松本市街に接する水田地帯であり、西部は芥子坊主山・伊深山に抱かれた傾斜地で、りんごを中心とする果樹園地帯です。

令和5年度第65回全国土地改良功労者表彰で「全土連会長表彰」を受賞した松本市女鳥羽川土地改良区の西村理事長に土地改良区の今後の展望や課題についてお話を伺いました。



西村理事長



これまでに取り組んできた主な事業

女鳥羽川土地改良区の幹線水路は大口堰で、稲倉の大口頭首工から取水するほかに17の取水口と堰があり、かつては大口堰の水利を統制するために、江戸時代から水利組合があったといわれ、昭和33年に前身となる岡田土地改良区が設立されました。

平成元年に生産性向上のために岡田・本郷地区の県営ほ場整備事業と団体営大村・雁金地区の土地改良総合整備事業が採択され、採択にあたって本郷・里山辺の一部と合併し松本市女鳥羽川土地改良区と名称を変更しました。事業では導水路の整備、田畑の区画整理が行われ、西部の果樹園地域には散水施設が設置されました。平成26年度（第1期）及び平成30年度（第2期）からは県単農業農村基盤整備事業を実施し、農業経営の安定化を図っています。



受益地（岡田町地区）



施設の維持管理

水管理については、地域の17の取水口ごとに組織された水利組合が主体となり、改良区と連携を取りながら、目地詰め等の簡単な補修を含む維持管理をおこなっています。改修の必要があるものについては、維持管理適正化事業等を活用し、役員で優先順位を検討しながら事業を実施しています。



大口堰



本土地改良区の特徴

◆多面的機能支払制度の活用

地域内では、多面的機能の活動組織として「岡田緑水会活動組織」が立ち上げられ、改良区の事務局と多面的活動組織の事務局で連携をとりながら地域資源維持活動を実施しています。構成員の改良区組合員や農家が中心となり、草刈り、水路の泥上げといった農地維持活動に地域一丸となって取り組んでいます。



水路の泥上げ・草刈り



↑ 田溝湖



◆改良区の水利を支える13のため池

流量が少なく、慢性的な干ばつ地帯として知られる女鳥羽川水系では、不足する灌漑用水補給のため、古くから上流部に多くの溜池が築造されてきました。地域内の一部のため池は農業及び防災用のほか、ため池の水面を利用した釣り池としての施設や、周辺にふれあい広場・運動場などが整備され、周辺の美しい里山の自然環境とマッチした地域住民の憩いの空間としての役割も担っています。



美鈴湖→



今後の展望や課題

耕作者の高齢化・後継者不足を始めとした課題が深刻となっています。当改良区では土地持ち非農家が増加しており、その多くが生産組合へ委託していますが、現状の体制では組合の受け入れにも限界があり、この先耕作放棄地の発生が懸念されます。一度現状について調査を行い実態の把握をした上で対策を講じていかなければなりません。離農が進む一因として農業一本では収入が安定しないという現実があり、「儲かる農業」にしていくには根本的な構造転換が求められています。改良区においても今後、水路の維持管理以前に改良区の存在意義を今一度考えなおす必要があると感じています。

松本市女鳥羽川土地改良区

- ・所在地 松本市大字岡田町517番地1
- ・関係市町村 松本市
- ・設立年月日 昭和33年7月31日
- ・受益面積 169ha (R6.4.1現在)
- ・組合員 603人 (R6.4.1現在)

長野県土地改良資料室を 開設しました

令和6年4月1日より、本会の所有する土地改良に関する各種資料約2,800点を収蔵した長野県土地改良資料室を開設しました。
資料室の利用については、下記をご確認ください。



ご利用方法

◆事前申し込み

HPに掲載の申込様式に必要な事項を記載の上、メール又はFAXでご提出ください。
指定利用日を記載の上、返送いたしますので指定の日にご来館ください。

※事前申込されていない場合利用出来ませんので必ず事前申込を行ってください。

※電話での申込は受け付けておりません。

◆資料の閲覧

- ・指定された利用日に、受付までお越しください。
- ・受付の際に、本人確認が出来る書類（名刺等）の提示をお願いします。
- ・閲覧場所については、本館1階資料閲覧場所とします。
- ・閲覧時間は1時間程度とし、それ以降は貸出をご活用ください。

ご利用についての詳細・事前申し込み様式等は、本会ホームページからご確認ください



- ①「水土里ネットながの」で検索
- ② HP上部の「当会の活動」→「広報」をクリック

- ③長野県土地改良資料室の「詳しく見る」をクリック



農地整備事業の事例紹介

県は、第4期長野県食と農業農村振興計画において、「稼ぐ産地を支える基盤整備の推進」として、高収益作物の導入を可能にする農地の整備を実施しています。

今回は、整備が完了し、営農が始まっている地区を紹介します。

◆荒廃桑園をワイン用ぶどう団地に再生し、活力ある農業を展開

ワイン用ぶどう団地の整備（東御市柵津御堂地区）

桑園の荒廃化が進んでいた柵津御堂地区は、標高750mから850mの南向き斜面で日照条件が良く、果樹栽培に適した土地と考えられていました。また、東御市には、ワイン用ぶどうの栽培やワイナリー建設を希望する移住者が多く集まっていました。

このため、ワイン用ぶどうの栽培に適していた当地区で、20haを超えるワイン用ぶどう団地を整備しました。現在、農地所有適格法人4社と担い手農家4戸がシャルドネ等のワイン用ぶどうを栽培しています。

地区内に、ワイナリーと地域産物販売促進施設も建設され、ワイン振興の拠点となるとともに、美しいぶどう畑が広がる地域の観光資源として期待されています。



【整備が完了したほ場】



【営農状況ワイン用ぶどう】

◆水稲から葉野菜へ、稼ぐ農業の展開

水田の畑地化による高収益作物導入で生産額の上昇（朝日村小野沢地区）



【区画が小さく不整形なほ場】



【区画整理実施中のほ場】

一級河川鎖川により形成された河岸段丘に位置する小野沢地区では、水稲を中心とする営農が展開されてきました。しかし、区画が小さく不整形であることや、農業水利施設の老朽化、農業者の高齢化や後継者不足などから耕作放棄地が年々増加していました。

このため、大型農業機械に対応したほ場の区画拡大、用排水路整備及び農道整備を行うことで営農効率を向上し、生産コストを低減するとともに、高収益作物（レタス、キャベツ、はくさい等）への転換を図ることで、収益性の向上を目指しています。

葉野菜への転換には排水性の向上が不可欠であるため、従前は水平の水田でしたが、傾斜をつけた畑地に整備することで、より効果的な排水不良対策に取り組んでいます。

整備を行う3つの工区中、令和5年度から「かたくり工区」で本格的に営農が開始され、令和7年度からは「くりあげ場工区」でも作付けが始まる予定です。

信州棚田フォトコンテストを開催します！



信州棚田 フォトコンテスト 作品募集



募集締切 2024. 9.30 月 まで

主催 長野県、長野県土地改良事業団体連合会

後援 信州棚田ネットワーク（事務局 長野県農政部農地整備課）

協力 第29回全国棚田（千枚田）サミット実行委員会、長野県写真連盟、三井住友海上火災保険株式会社長野支店

◆ 募集テーマ

- ・長野県の棚田にかかわる人々の活動や様子を主題としたもの
 - ・長野県の棚田の風景を主題としたもの
- ※2021年以降に撮影したもの

◆ 応募方法

・インターネット

（信州棚田ネットワークホームページの専用フォームから）

- ・郵送（A4若しくは四つ切り又は四つ切りワイドにプリントした写真に応募用紙を添付して提出）

送付先：〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 長野県農政部農地整備課



◆ 各 賞

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ・長野県知事賞 | 1点（賞状、県特産品3万円程度） |
| ・長野県土地改良事業団体連合会長賞 | 1点（同、県特産品2万円程度） |
| ・第29回全国棚田（千枚田）サミット実行委員長賞 | 1点（同、同 2万円程度） |
| ・三井住友海上火災保険株式会社長野支店長賞 | 1点（同、同 2万円程度） |
| ・優秀賞 | 10点（同、同 6千円程度） |
| ・佳作 | 10点（同、同 5千円程度） |

お問い合わせ：TEL026-235-7241（信州棚田ネットワーク事務局）

詳細については信州棚田ネットワークホームページから「信州棚田フォトコンテスト」をご覧ください。



◎人事異動(農林水産省)

農林水産省農村振興局 (7月5日付)

	局長(東北農政局長)	前島 明成
農村政策部		
農村計画課	課長(農林水産技術会議事務局研究推進課長)	藤田 晋吾
都市農村交流課	課長(農村振興局整備部設計課付)	廣川 正英
鳥獣対策・農村環境課	課長(農産局地域作物課地域対策官兼農産局園芸作物課付)	仙波 徹
整備部		
土地改良企画課	課長(内閣府沖縄総合事務局農林水産部長)	福島 央
農地資源課	課長(農村振興局整備部付)	登り 俊也

農林水産省関東農政局 (7月5日付)

局長(近畿農政局長)	安東 隆
次長(東海農政局農村振興部長)	杉山 一弘

農林水産省関東農政局 退職 (7月4日付)

次長	佐々木明徳
----	-------

◎人事異動(長野県土地改良事業団体連合会)

長野県土地改良事業団体連合会

東信事業所	(6月1日付) 技術係技師(本部事務局事業課技術係備用職員技師)	金井 俊樹
中信事業所	(7月1日付) 技術係技師(本部事務局事業課技術係備用職員技師)	中川 空

長野県土地改良事業団体連合会 退職

	(3月28日付) 本部事務局事業課付	最上 風馬
	(4月12日付) 本部事務局事業課付	堤 渚太郎



表紙写真紹介 ————— 拾ヶ堰(安曇野市、松本市)

江戸時代後期の1816年、大庄屋の等々力孫一郎らは10の村々に約1,000haの水田を開田するため、奈良井川から取水し、複合扇状地の標高約570mの等高線に沿って3,000分の1という緩勾配で水を導くことを考案しました。近代的な測量器や土木技術がない中で、わずか3ヶ月という驚異的な早さで築造するという偉業を成し遂げ、安曇野が県下有数の穀倉地帯として発展する礎を築きました。

文：信州の農業遺産魅力ガイドより(長野県 農政部 農地整備課 発行)



みどり
水土里ネットながの
土地改良のしるべ

発行：令和6年8月（年4回発行）
発行所：長野県土地改良事業団体連合会
〒380-0838 長野市大字南長野字宮東452番地の1
TEL026-233-4281 <http://www.nag-doren.or.jp>
土地改良のしるべ編集人：白鳥 公晴